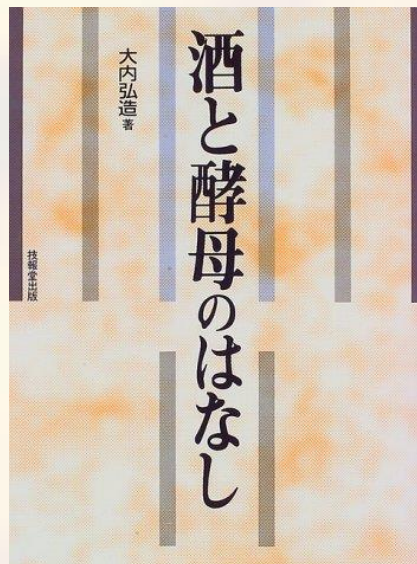


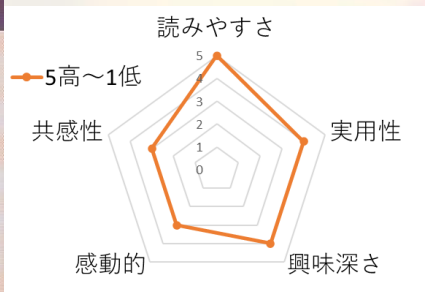


“ほん屋”of the students, by the students, for the students
※この発刊紙は、学生が作る
ニュース(図書館発刊)です。

「酒と酵母のはなし」



大内弘造
588.5 / O91
閲覧室図書
書庫(図書)



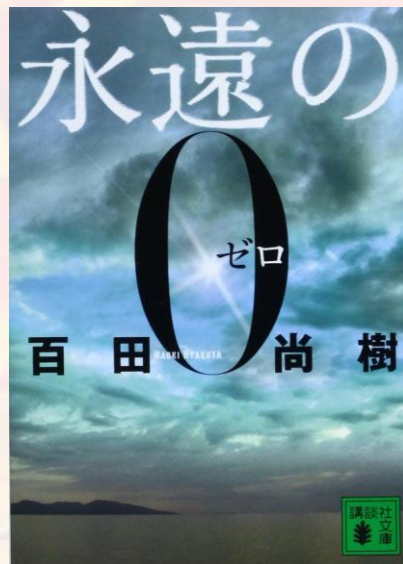
昔から人類が嗜好品として飲んでいる**お酒は、私たちの目には見えない微生物“酵母”**によって造られています。

この本は、**酵母**についてお酒の歴史とともに**分かりやすく解説**しています。どのようにアルコールを含む飲料が誕生したのか、なぜ酵母が利用されているのか。そうした疑問をこの本で解決できます。

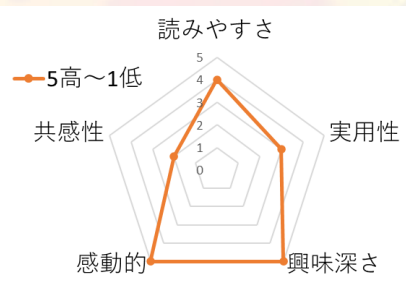
お酒について、酵母について興味のある人におすすめです。

専攻科
生物資源工学コース 1年
宮城 彰治

「永遠の0」



百田尚樹
913.6 / H99
書庫(文庫)



みなさんは**「戦争」**についてどのよ**うなイメージ**を持っているでしょうか。悲惨、悲しいといった暗いイメージで、**自ら進んで戦争について学ぼう**と思う人は**少ないか**と思います。

今回私は「永遠の0」という本を紹介したいと思います。

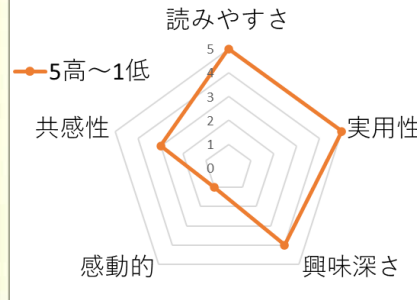
本作は一人の男性に注目し、**様々な視点から見た戦争**が語られています。そのため、怖いのが苦手という方にも、**ドラマを見るような感覚**で戦争について学べる一作となっています。

本科
生物資源工学科 5年
喜納 亜優

「むずかしい微分積分」



大上丈彦
413.3 / O21
閲覧室図書



優しい入門書ですら、そっと閉じてしまう、数学から置いてけぼりをくらっている**“猿でも理解できる本が理解できない”**そんな**数学難民**におすすめの一冊。

読むと分かるが、**非常に優しい入門書**となっている。普通の入門書が、優しく教えてくれる先生なら、本書は**保母さん**のような存在だ。数学なんてと嘆き叫ぶ私たちを、**手取り足取り**助けてくれる。

しかし、決して数学を軽んじた教え方はしない。本書の最初にこう記述されている。**「暗記猿に退化しないように」**

専攻科
生物資源工学コース 2年
具志堅 悠馬